

横須賀市廃棄物減量等推進審議会（第62回）議事概要

- 1 日 時 平成29年(2017年)1月23日(月) 午後3時00分から3時50分まで
- 2 場 所 横須賀市役所本館3号館5階 正庁
- 3 出席委員 安部委員、飯田委員、岩澤委員、織委員、北村委員、國分委員、佐藤(明)委員、
関矢委員、内藤委員、原委員、福本委員、藤田委員、米村委員
- 4 事務局 資源循環部 小川部長
広域処理施設建設室 小林課長補佐、櫻井係長
資源循環総務課 和田課長、山本課長補佐、新倉主任、小谷主任、山崎
資源循環推進課 坂下課長、高野課長補佐、関澤係長、瀧上係長
廃棄物対策課 杉山係長
資源循環施設課 高橋課長
リサイクルプラザ 佐藤館長
南処理工場 山口工場長
資源循環久里浜事務所 橋所長

5 傍聴者 1名

6 議事内容

開会

事務局が定足数である半数以上の委員の出席を確認し、会議の成立を報告した。

議事

(1) 答申「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定について」

○織委員長 平成27年10月20日の審議会において、市長からごみ処理基本計画改定の諮問を受けて以来、前回12月12日までの6回にわたり審議し、審議会としての意見をまとめることができました。皆さまには、会議へ積極的に参加いただいて本当に感謝しております。本日は、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定について、市長へ答申したいと思います。

(委員長が市長の代理である資源循環部長に答申書を手交)

(市長からの答申にあたり感謝とお礼のあいさつを資源循環部長が代読)

○資源循環部長　ただいま、答申をいただきました。市長には正確に誠実に答申をお伝えしたいと思えます。市長より答申をいただくにあたりましてメッセージをお預かりしておりますので代読をさせていただきます。「本日はお忙しい中、第62回 横須賀市廃棄物減量等推進審議会にご出席いただきましてありがとうございます。織委員長、また、本日ご出席の委員の皆さまに心よりお礼を申し上げます。平成27年10月に、当審議会に対して、ごみ処理基本計画の見直しについて諮問を行いました。それ以降、平成28年1月、6月、7月、10月、12月、の5回に亘りご審議いただき、それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきました。それらを取りまとめ、本日、答申をいただけたことに感謝申し上げます。また、平成28年11月11日～12月1日に実施いたしましたパブリック・コメント手続では、70人の方から277件ものご意見をいただき、市民の関心の高さを感じています。横須賀ごみ処理施設の建設工事につきましては、12月17日に安全祈願祭を開催し、今年度中には施設本体の建設工事に入る予定です。今後は、改定計画に掲げた減量化・資源化策を着実に実施いたしまして、三浦市と協同して、一層のごみ減量化に努め、平成31年度の広域処理を目指していきたいと思えます。本日はありがとうございました。平成29年1月23日横須賀市長吉田雄人」代読でございます。

（2）ごみ処理基本計画の進行管理（平成27年度実績）

○資源循環総務課長　（資料1に基づき説明）

○資源循環推進課長　（水銀使用製品のチラシに基づき説明）

○織委員長　水銀条約が適用されて、世界各国では、まだまだ水銀を使用しており、金や銀の採掘に使用しているところがたくさんありますが、日本では全面禁止になっていますので使用されているものは、残りを回収するのが課題として残っている状況になっています。現行計画の進行管理、水銀回収モデルについてのご説明がありましたがご質問、ご意見等ある方いらっしゃいますか。

○岩澤委員　資源循環総務課長からご説明をいただいた中で、質問と意見を申し上げます。まず、質問でございますが、現行計画の進行管理の1ページ、平成27年度の処理単価を項目毎に数字を挙げていますが、一方答申書の別添48ページを見ますと、同じような表があるのですが、この数字の違いについて理由を教えてくださいたいと思えます。それから、資料1、3ページの第4章、3、①グリーン購入の推進、①公共工事等における再生資源等の使用という取り組み内容がありますが、この2つの取り組み内容をひとつの欄で書いてありますが、内容そのものは、グリーン購入の実績を書いているのですが、公共工事等における再生資源等の使用というのは、ここに出てきていないと思えましたので、両方一緒にして記載するのはどうなのかと思えます。それから資料1、10ページ、2処分量（処理施設搬入量）という表がありますが、この中の焼却施設についての平成27年度の実績が101,296トとありますが、答

申書の57ページの処分量を見ると93,409トということで、その差は三浦市の分だと聞きましたが、そうであれば、欄外に数値の説明をした方がいいのではないかと思います。

○織委員長 丁寧に見ていただきありがとうございます。まとめて、経済性の数値と処分量の焼却量が答申書と進行管理で違うことについて説明をお願いします。

○資源循環総務課長 1ページの評価指標と答申書が合っていないというお話しをいただきました。これにつきましては、平成29年1月に東京電力の損害賠償金が確定しまして、それを反映した形になっております。答申書は、平成28年10月末現在で、パブリック・コメントを実施させていただいているので古い数字です。今回ご説明させていただいた平成27年度実績は、最新の数字になっています。ご指摘の通り数字が違ってきます。パブリック・コメントの関係で、数値は遡って新しくせず、それぞれの基準日で記載をさせていただいています。

○織委員長 今回の岩澤委員のご指摘は適切だと思います。数字を遡らないのなら、平成29年1月現在とか、表の下に入れた方が親切ですよ。

○資源循環総務課長 承知いたしました。基準日について記載をするようにいたします。合わせまして、進行管理の10ページ、平成27年度焼却施設101,296トとなっております。お話しをいただいた通り、三浦市の焼却量を含めた数値となっております。ご指摘通り欄外に説明書きを記載し、誤解のないようにさせていただきます。

○織委員長 お願いします。3ページのグリーン購入の推進、公共工事等における再生資源等の使用についても回答してください。

○資源循環総務課長 グリーン購入の推進、公共工事等における再生資源等の使用につきましては、部局をまたがる項目になっていまして、ご指摘のところ調査をしまして、お見込みのとおりでしたら、行を一つにして対応したいと思います。

○織委員長 グリーン購入の中に公共工事等における再生資源の使用が含まれているわけですよ。本来であれば、塩ビ管の使用などが含まれているということですが、別の観点から分けているという話かと思います。他に何かありますか。

○佐藤（明）委員 米海軍基地のごみを受けてきたのですが、現在の実績はどのようになっているか。

○資源循環総務課長　横須賀市としては、米海軍基地のごみについては受けていません。

○織委員長　他に何かありますか。紙製容器のごみの分類について、分かりやすい名称があるのではないかと、審議会でご意見があったと思いますが、それについて藤田委員からお話しをしていただけます。

○藤田委員　以前の審議会で、紙マークが書いてあるのに、リサイクルできないとお話しがありましたが、「リサイクルの風」という資源回収協同組合の冊子を作りましてその7ページに紙マークのお話しを記載しました。新しい紙製品は全て紙マークを入れなければなりません。全てが製紙原料になるかというなりません。固形燃料等にリサイクルされる物もあるということを書かせていただきました。この冊子を読んでいただければと思います。分からないことがありましたらおっしゃっていただければお答えいたします。

○織委員長　ありがとうございます。大変分かりやすい冊子ですね。紙マークが混乱するのですが、容器包装リサイクル法において、素材を表すマークを必ず付けることになっている。素材を表しているのですが、例えばプラマークも矢印が付いていますが、必ずしもプラスチックリサイクルが出来るわけではないのです。単にアルミ、スチール、プラ、紙等の分類を示しているだけです。もともと分類が分からなくなるので、付けましようとなっていて、必ずしもイコールリサイクルではありません。諸外国は矢印マークが付いていたら、必ずリサイクルするマークなのですが、日本の場合は、ややこしく、矢印マークに紙と書いてありますが、リサイクルマークではないという、単に法律の話です。一般常識とは違います。

○藤田委員　そういう質問はありますが、これを読んでいただければ多少は分かるかと思えます。また、リサイクルできる紙とできない紙の説明も書きましたので参考にさせていただければと思います。

○織委員長　ありがとうございます。

○國分委員　進行管理7、8ページ、（1）不法投棄対策の強化に不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを実施とありますが、どこで、どんな方法で、何か所ぐらいあるのでしょうか。

○資源循環推進課長　地域で17箇所、重点地域というのを設けております。例えば、坂本芦名線の途中や、浦郷の関東自動車の跡地周辺など、夜になると暗くて人があまりこない場所がございまして、よくごみを投棄される場所として、夜間と昼間もパトロールを行っています。

○國分委員　　どんな物が捨ててあるのでしょうか。

○資源循環推進課長　　テレビ、冷蔵庫、タイヤなど様々な物が投棄されています。

○織委員長　　パトロールをしてだいぶ減りましたか。

○資源循環推進課長　　ピーク時より、回収量は減っております。

○織委員長　　本日の議事は以上になります。ありがとうございました。審議会の委員長を2年間させていただき、みなさんの積極的なご意見をいただき本当に楽しく委員長を務めさせていただきましたが、今期をもって終了させていただきたいと思います。長い間ありがとうございました。大学が四ッ谷のため、今回のように電車が遅延すると遅れてしまう等、距離的に難しく、何とか2年間はやってきましたが、往復で4時間掛かりますし、大学も忙しくなってきました。この審議会は、意見が活発で、みなさんと一緒に施設見学をするなど、楽しかったのですが、なるべく続けたいと思いつつ、今期をもって終了させていただきたいと思います。長い間ありがとうございました。今後の予定について事務局からお願いします。

○事務局　　ありがとうございました。本日答申をいただいたごみ処理基本計画については、2月15日開催予定の庁内会議で行政計画として合意を得た後、資料編などを調整し、冊子として印刷いたします。各委員へのお手元には、4月上旬にお送りする予定です。また、パブリック・コメント意見への回答も、2月15日以降の早い時期に、市のホームページや市政情報コーナー、行政センターなどで公表いたします。また、本日の議事概要については、案ができ次第、各委員あてに送付させていただきますので、内容を確認していただいた後に、公開させていただきます。今年度の審議会は、本日で終了となります。次回の開催につきましては、新年度に入ってから議事内容等を調整いたしますが、委員の任期が9月末となりますので、委員の改選後、早い時期に開催したいと考えております。よろしくお願いします。本日お車でご来庁された方で、北口駐車場をご利用された方は駐車券をお渡ししますので、お近くの事務局員までお声かけください。

○織委員長　　ありがとうございました。これをもちまして、横須賀市廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。

閉会